

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和5年6月20日	
堺市長 殿	
提出者 住 所 京都府宮津市字須津471-1 氏 名 金下建設株式会社 代表取締役社長 金下 昌司 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0772-46-3151	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	金下建設株式会社 大阪支店
事業場の所在地	大阪市北区西天満4丁目3番25号 梅田プラザビル本館7F
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	令和4年度工事実績 670百万円
③従業員数	5人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別添2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃プラスチック類
	排出量	119.66 t	4.03 t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・有価処理可能な品目の分別を行い、廃棄物を減量している。 ・資材のプレカット発注、梱包材の減量発注を行っている。 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	⑦がれき類	⑩建設系混合廃棄物
	排出量	500 t	10 t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている取り組みの継続と更なる改善。 ・新規リサイクル施設の調査と利用。 ・有価売却が可能な品目の調査と分別。 			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	スクラップ金属、段ボール、無機性汚泥、建設工事の木くず、伐採材・伐根材、ガラスくず、廃石膏ボード、がれき類、コン葺、アス葺、建設系混合廃棄物、管理型建設混合廃棄物、廃プラスチック、石綿含有廃棄物、水銀使用製品廃棄物。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・排出場所近隣の処理施設や特定品目の買取施設を調査。 ・有価売却可能な品目があれば分別する種類に追加。 		

③建設工事の木くず	④伐採材・伐根材	⑤ガラスくず	⑥廃石膏ボード
25.39 t	0.86 t	5 t	8.68 t

t	t	t	t

⑦がれき類	⑧コンクリート破片	⑨アスコン破片	⑩建設系混合廃棄物
586.12 t	1031.58 t	20 t	37.25 t

t	t	t	t

⑪管理型建設混合廃棄物	⑫石綿含有ガラス、コンクリート、陶磁器くず	⑬石綿含有廃プラスチック	⑭蛍光灯
0.52 t	7 t	0.88 t	0.06 t

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 特に無し。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 特になし。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃プラスチック類
	全処理委託量	119.66 t	4.03 t
	優良認定処理業者への処理委託量	119.66 t	0 t
	再生利用者への処理委託量	119.66 t	4.03 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約する業者の許可品目、処理能力、優良認定等の事前調査。 ・ 毎月現場パトロールを実施し、委託契約書やマニフェストに不備がないか、保管基準の遵守が出来ているかなど監視・指導を行っている。 ・ 廃棄物処理法に関する社内教育、外部セミナーの受講、産業廃棄物適正処理管理士資格の取得推進。 		

t	t	t	t

t	t	t	t

③建設工事の木くず	④伐採材・伐根材	⑤ガラスくず	⑥廃石膏ボード
25.39 t	0.86 t	5 t	8.68 t
0 t	0 t	0 t	0 t
25.39 t	0.86 t	5 t	8.68 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

t	t	t	t

t	t	t	t

⑦がれき類	⑧コンクリート破片	⑨アスコン破片	⑩建設系混合廃棄物
586.12 t	1031.58 t	20 t	37.25 t
458.8 t	10 t	0 t	0 t
586.12 t	1031.58 t	20 t	37.25 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

t	t	t	t

t	t	t	t

①管理型建設混合廃棄物	②石綿含有ガラス、コンクリート、陶磁器くず	③石綿含有廃プラスチック	④蛍光灯
0.52 t	7 t	0.88 t	0.06 t
0.26 t	7 t	0.88 t	0 t
0.52 t	7 t	0.88 t	0.06 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	⑦がれき類	⑩建設系混合廃棄物
	全処理委託量	500 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	500 t	10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物に関する法改正、条例改正、社会情勢の変化、地域特性の把握。 ・現在行っている取り組みの継続と更なる改善。 			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。